

C O R P O R A T E
P R O F I L E /

アクティブ・ ディフェンス

新しい世界には、新しいあんしんを。



代表取締役社長
COO

水野一隆

Kazutaka Mizuno

電気エネルギーの可能性を信じて、電気エネルギーを安全に確実に、より多くの人へ届けるために、私たちの会社は誕生しました。

大正8年創業。昭和、平成、令和と時代は目まぐるしく変化し、わが国の産業を取り巻く環境も大きく移り変わってきました。

私たち河村電器産業は、基盤である電気の「安全・安心」に「測定・監視・制御」を加え、“より効率的に”という事業領域へ拡大しています。当社のミッションは、時代を読み先へ、先へと予測し、世の中にないものをつくること。

未来は夢と希望にあふれています。その一方で、さまざまな場面で未知のリスクも発生します。だからこそ時代の先を読み、暮らしを守り、社会を支える。

「新しい世界には、新しいあんしんを。」——アクティブ・ディフェンスこれが河村電器産業です。

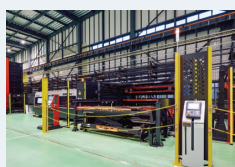
2024年4月、郡山工場が ついに稼働



工場棟

自動化とSDGsを徹底追及した 次世代工場

工場棟の屋根に設置した太陽光発電システムから、クリーンな電力を供給。廃熱利用、氷蓄熱空調などの徹底したカーボンニュートラルへの取り組みにより、ZEB達成とBELS☆5評価取得。災害にも強い工場です。



板金エリア

工程の約8割を自動化。抜き加工から曲げ加工、溶接までの完全自動化を実現。

塗装エリア

エネルギーを省いて再利用する塗装工程を実現し、CO2排出量を18.2%削減。



組立エリア

作業を自動化し、部品調達の時間削減と熟練度を要しない仕組みを構築。

オフィスエリア

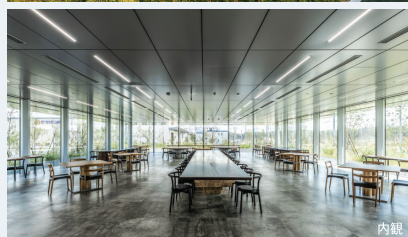
「生産モニタリングシステム」を導入し、生産ラインの進捗状況を見える化。



厚生棟 AQURIO

地域と共に

食堂の配膳カウンターやテーブルには、福島県の石や木を採用。さらに、福島県産の食材を使ったメニューを提供し、地産地消に取り組みます。また、災害時は指定避難所としての施設利用や避難所運営などの支援・協力。食料、飲料その他備品の提供をおこないます。



地域の小学生と共におこなった植樹祭

ラボ棟 LABO

電力利用の未来を研究する

実証評価エリア

住宅や工場などで使われるさまざまな電源が再現可能で、協力企業様との連携システムの評価も可能。

技術評価エリア

電源の環境評価用設備・電子負荷設備・大型恒温槽の設備などさまざまな模擬試験が可能。

共感共創エリア

産官学との連携による、新しい発想で製品を生み出す。

電気自動車(EV車両)への電力共有

工場敷地内の駐車場に設置されたEV充電器は、有事の際無料開放。電気自動車(EV車両)への電力共有およびEV車両での出張電力サービスが可能。



SDGs達成に向けた取り組み



持続可能な社会の実現と、美しい地球環境の保全のために、さまざまな取り組みを通じてSDGsを推進しています。

取り組み



スポーツ施設・文化遺産への製品寄贈

目標

防災商材の無償提供を年間1件実施する



名古屋市長テラスボートへ製品を寄贈



高効率キュービクル改修

目標

高効率キュービクルの改修を年間60件実施する



環境対応型製品の製造

目標

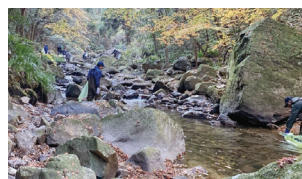
環境対応型製品の開発のうち自社基準で環境適合評価点の目標点数を達成する



社会貢献活動、生物多様性保全活動への継続的参加

目標

社会貢献行事の催しを年間6件実施する



オオサンショウウオが生息する瀬戸市蛇ヶ淵川の清掃活動

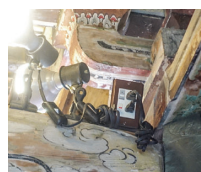
防災・緑化・地域貢献活動

電気火災から文化財を守る取り組み

大規模地震発生時の電気火災に有効とされる「感震ブレーカ」と、トラッキング火災を未然に防ぐ「プレトラックコンセント」を京都・奈良の寺院を中心に寄進しています。

【寄贈・寄進実績】

2014年 臨濟宗大本山 建仁寺(京都市)	2021年 京都市指定有形文化財 長江家住宅
2015年 古川美術館分館 為三郎記念館(愛知県)	2021年 岡墨光堂(京都市)
2018年 法相宗大本山 薬師寺(奈良市)	2021年 宗像大社(宗像市)
2019年 本山修験宗総本山 聖護院門跡(京都市)	2022年 平等院(宇治市)
2019年 臨濟宗建仁寺派 高台寺(京都市)	2024年 開成山大神宮(郡山市)



設置したプレトラックコンセント(高台寺)



製品を寄進した宗像大社

熊本県水俣市と地域包括連携協定締結

再エネ地産地消の仕組み構築による脱炭素社会の実現とエネルギー循環事業の収益による地域課題解決の両立プランを策定することを目的に地域脱炭素社会の実現および地域活性化に向けた包括連携協定を締結しました。



協定締結の様子

福島県郡山市と防災協定締結

郡山市の地域防災力向上を目的に災害時における避難者支援・指定避難所等の協力に関する協定を締結しました。



協定締結の様子

PRODUCT CATEGORY

製品カテゴリ

01 高圧受電設備

6600Vの高圧電気を200Vおよび100Vに変圧するための高圧受電機器を、金属製の函体に収納した設備です。省スペースで、施工性、メンテナンス性にもすぐれ、中小規模の工場やビルに最適な受電設備です。

使用場所

公共施設、商業施設、工場、ビル、太陽光発電所など



02 産業用分電盤

ビル、工場の電気はすべて分電盤を通して供給されます。建物が変わればそこに使用する分電盤も千差万別に変ります。この特要素の多い分電盤の標準化に成功。ユニットを自由に組み合わせて回路を構成し、短納期および経済的な価格を実現しています。

使用場所

公共施設、商業施設、工場、ビル、集合住宅など



03 産業用、民生用キャビネット

配電機器、制御機器を収納するキャビネットは、使用環境、収納機器により最適なサイズや構造が異なります。多種多様なニーズに対応できるよう、さまざまな材質、構造、サイズを用意しています。

使用場所

公共施設、商業施設、工場、ビル、住宅、基地局など



04 情報通信ラック

通信機器収納用19インチ*EIA規格ラックや、オフィス環境にマッチする小型ラックをラインナップ。各種ラックとオプションの組み合わせにより、データセンター、オフィスなどさまざまな用途への対応が可能です。

*米国電子工業会によって定められた、ラックと収納する機器のサイズに関する規格。

使用場所

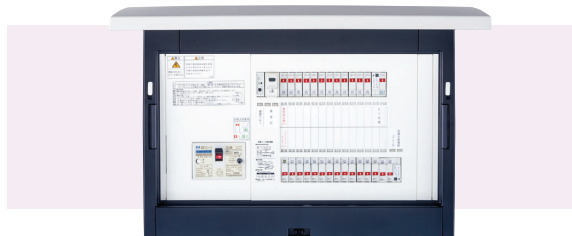
工場、データセンター、オフィス、基地局など



05

住宅用分電盤

電気を住宅内の照明やコンセントに供給します。電気の使いすぎなど異常が発生すると自動的に電気を遮断し、家庭内の電気の安全を守ります。常に時代に合った機能、使いやすさ、デザインを追求した製品を開発しています。



06

遮断器(ブレーカ)

電気の流れすぎや短絡(ショート)などが発生した場合、電気を遮断して電気災害を未然に防ぎます。ブレーカで最も大切なことは信頼性と考えており、JIS規格への対応、ISO9001の取得など、設計製造において、常に高い信頼性を追求しています。



07

EV充電設備

限られた電力をかしこくシェアして何台もの同時充電を可能にするEVチャージシステムや、EVコンセント盤、コンセントスタンド規格認定品のEV普通充電用電気設備を開発しています。EV需要に幅広く対応していくことで自動車業界のカーボンニュートラルに貢献していきます。



08

電気火災防止製品

差し込んだままのプラグとコンセント。そのスキマに溜まったホコリが原因で発熱・発火に至る現象を「トラッキング現象」といいます。独自技術により初期段階で発生する微少な放電電流を検知して、トラッキング現象を未然に防ぎます。



プレトブラックコンセント

プレトブラックコンセント スクエア

09

省エネ機器

電路上にあるすべての機器を既存電力線で制御する省エネシステム「PLC-Connector」。照明の調光制御のほか、空調の出力抑制などが可能。計測監視により、電力が見える化され、各機器を制御でき、省エネや利便性の向上、コストの削減ができ、循環型社会に貢献します。



PLCゲートウェイ

PLC通信ブリッジ

受賞

JECA FAIR(電設工業展)製品コンクール 受賞

2006年受賞 労働安全衛生総合研究所 理事長賞(プレトブラックコンセント)
 2007年受賞 日本電設工業協会 会長賞
 2008年受賞 日本電設工業協会 会長奨励賞
 2009年受賞 国土交通大臣賞(ブレードブレーカ)
 2010年受賞 労働安全衛生総合研究所 理事長賞
 2011年受賞 経済産業大臣賞(接触部過熱検知機能付ブレーカ)
 2012年受賞 日本電設工業協会 らくらくコントロール賞
 2013年受賞 国土交通大臣賞(enステーション EcoEye)
 2014年受賞 大阪市長賞

製品技術の創造性が認められ、17回連続の入賞を達成

2015年受賞 国土交通大臣賞(住宅用感震総合システム)
 2016年受賞 日本電設工業協会 奨励賞
 2017年受賞 日本電設工業協会 奨励賞
 2018年受賞 関西電気保安協会 理事長賞
 2019年受賞 日本電設工業協会 奨励賞
 2022年受賞 環境大臣賞(スマートenコントロールシステム)
 2023年受賞 環境大臣賞(ダブルハイブリッドEVステーション)
 2024年受賞 経済産業大臣賞(DC直列アーク検知システム)

COMPANY PROFILE

会社概要



名称

河村電器産業株式会社

本社所在地

愛知県瀬戸市暁町3番86

創業

1919年8月

設立

1929年11月

資本金

18億340万円

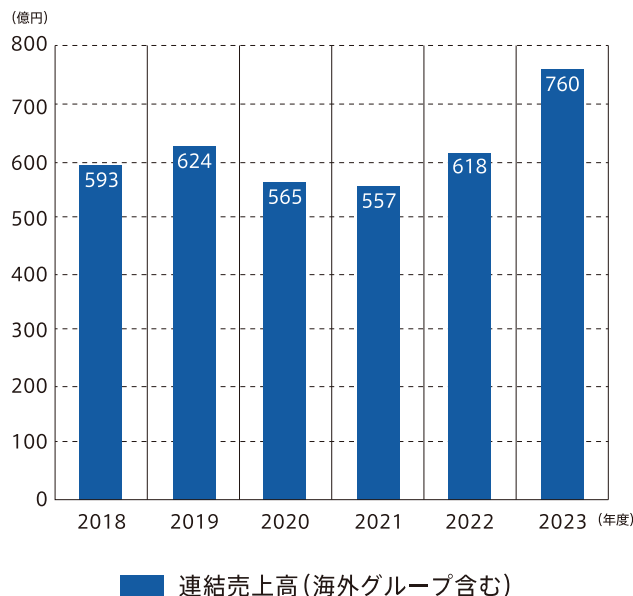
役員・監査役

代表取締役会長	河村 幸俊	執行役員	土屋 健太郎
代表取締役社長	水野 一隆	執行役員	米塚 和輝
取締役副会長	河村 誠悟	執行役員	柴田 桂
取締役副社長	佐々木 英二	執行役員	河村 将成
専務執行役員	陣之内 俊二	監査役(常勤)	平井 恵
常務執行役員	米林 毅	監査役	柳澤 伯夫
常務執行役員	伴 寛守	監査役	鈴木 文男
執行役員	野田 真敬		

従業員数

単体:1,826名 連結:1,995名(国内グループ)
(2024年3月31日 現在)

連結売上高



公式WEBサイト



2次元コードからご確認ください

国内拠点・グループ会社

生産拠点

- 暁工場
分電盤・制御盤・キュービクルの生産
- 札幌工場
分電盤・キュービクルの生産
- 郡山工場
分電盤・キュービクル・キャビネットの生産
- つくば工場
ラック・キャビネット・分電盤・宅配ロッカーの生産
- 本地第一工場
キャビネット・宅配ボックスの生産
- 本地第二工場
ブレーカ・住宅用分電盤・電子機器・情報通信機器の生産
- 水俣工場
分電盤・キュービクル・キャビネットの生産



暁工場



郡山工場

国内グループ会社

- 河村電器販売株式会社
電気設備機器の販売事業
- 株式会社キッズウェイ
IoT事業、あばねっと事業
- 株式会社テクノバン
電気工事業
- 河村物流サービス株式会社
貨物利用運送事業、倉庫事業



株式会社キッズウェイ

海外グループ会社

- 上海河村電気有限公司
高圧・低圧受配電盤の設計、製造、販売
- 河村電器(中国)有限公司
配電盤・遮断器・電気機器の開発、部品製造、販売
- 河村電器(北京)有限公司
配電盤・電気機器・情報通信機器の販売、情報通信工事請負
- 河村機電(上海)有限公司
遮断器・電気機器の開発、製造、販売
- 河村電器国際貿易(上海)有限公司
配電盤・遮断器・電気機器の海外販売
- 河村図文設計(大連)有限公司
高圧・低圧受配電盤の作図
- Thai Aichi Denki Co., Ltd.
受配電設備機器の設計、製造、販売
- Kawamura Electric Vietnam Co., Ltd.
配電盤の製造、販売
- Duy Hung Technological Commercial JSC
産業用電気機器およびFA機器の販売
- Syntech Switchgear & Engineering Pte. Ltd.
配電盤の製造、販売、メンテナンス

